

Uターン就職を支援

県と東京都市大が協定

県内出身の大学生のUターン就職を促進するため、県は8日、東京都市大学（本部・東京都）と協定を結んだ。大学は企業説明会などで、県内に県内企業情報を提供し、就職活動を支援する。県は、同大の学生が県内の企業で就業体験をする際に協力する。（浅井文人）



協定書に署名した村井知事(右)と中村学長

県庁で村井仁知事と中村名し、調印した。県内の大へ進む人のうち約85%は県外に進学している。協力をきてうれしい」と

知事は「県内産業を担う人材確保が課題。県として企業の採用活動や地域活性化に貢献したい。連携、内産業を担う人材確保が課題。県として企業の採用活動や地域活性化に貢献したい。連携、

同大学は旧武蔵工業大学で、約6500人の学部生があり、県内から毎年約30人が入学している。入学者は首都圏以外では、静岡県に次いで長野県出身者が多い。塩尻市に付属高校があり、関係も深い。中村学長は「東京で必要な知識を身に付け、故郷に戻って地域に貢献するのも大事。協定を機に長野のことを学生にアピールしたい」と話した。

無断転載禁止
著作権は市民タイムスに帰属します
転載承認済

東京都市大学グループ
学校法人五島育英会